

ゾーン別計画

■ゾーン区分について

本市は丘陵部にまとまったみどりが存在しており、みどりのまとまりごとによって特徴があります。

また、みどりのネットワーク、生物多様性、突発的な豪雨に対する防災等を検討する上で、みどりと流域を一体的に捉える必要があります。

これらのことを踏まえ、前回のみどりの基本計画では、行政センターによる区分ではなく、「まとまりのあるみどりによる区分」「流域による区分」「生物の生息分布状況による区分」を基にゾーン区分を設定しました。本計画においても同様のゾーン区分とします。

◇ まとまりあるみどりによる区分

田浦周辺から隣接市町に広がる二子山山系のみどり、大楠山・衣笠山、武山にそれぞれまとまったみどりが存在します。その他、野比周辺、観音崎にまとまったみどりが存在します。

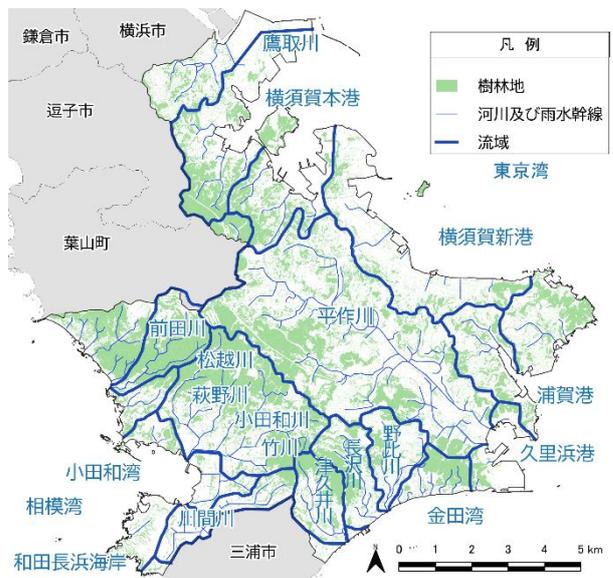
また、長井から津久井にかけて農地のみどりが広がっています。



(出典: Contains modified Copernicus Sentinel data [2025] processed by Sentinel Hub に一部加筆)

◇ 流域による区分

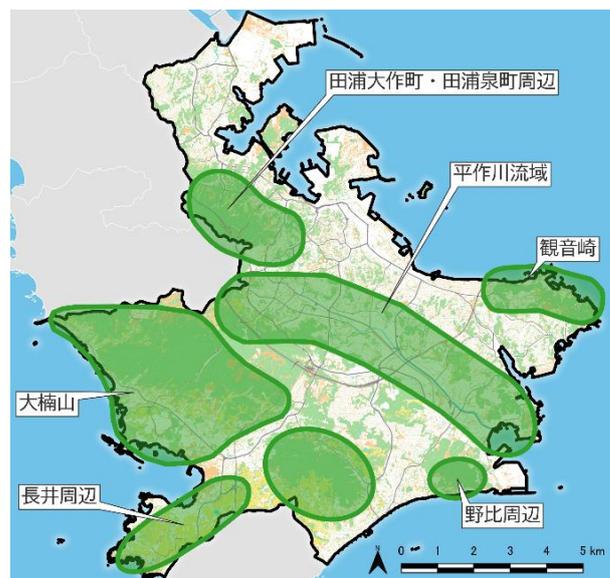
本市には、23水系、37河川、約50kmの河川があります。これらの主な河川の流域を含め25に区分できます。



◇ 生物の生息分布状況からの区分

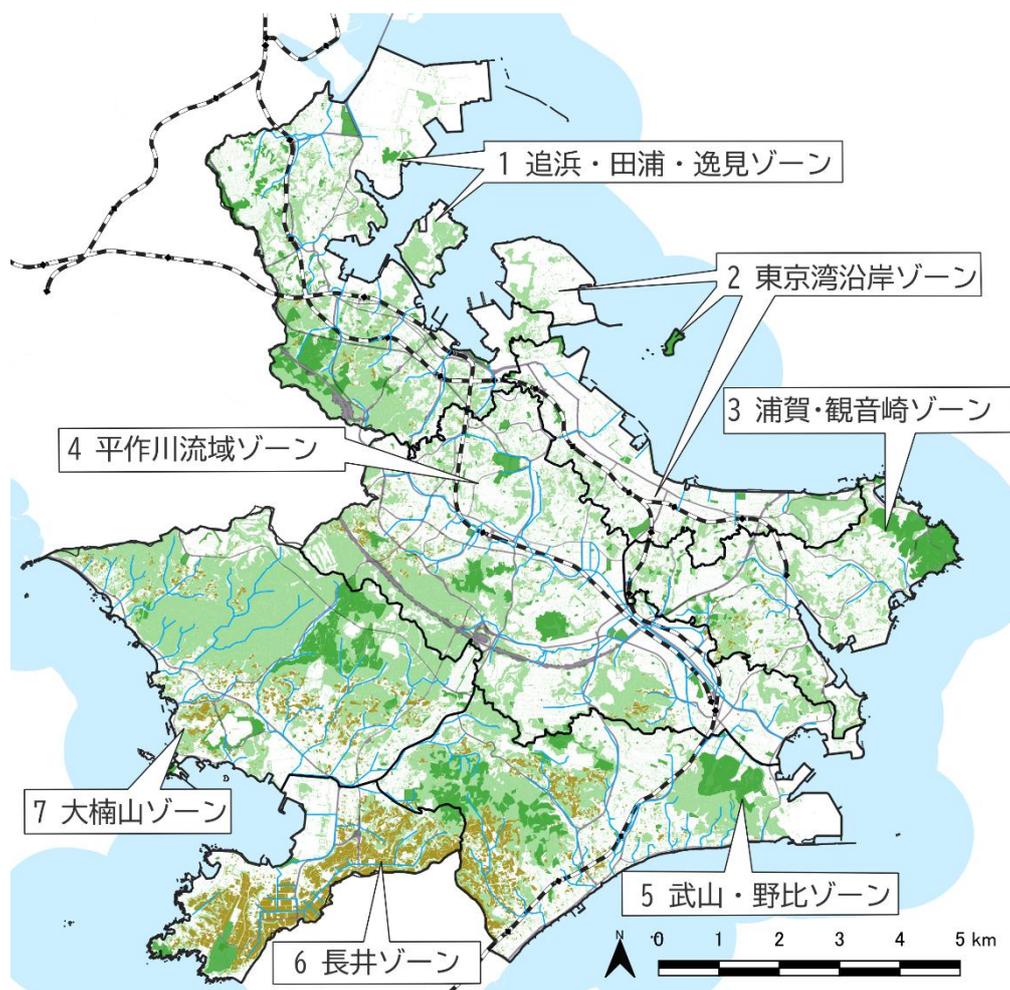
平成26年度（2014年度）の生物多様性保全推進事業において、本市における生物の生息拠点となる樹林地、海岸、河川、池沼、谷戸、学校ビオトープ等を抽出した結果、自然拠点として203カ所があげられました。

本市の東京湾側は、市街化が進んでいるものの、斜面緑地が残されており、緑地の連続性が高いです。しかし、生物の生息拠点としては限られています。



◇ 7つのゾーン区分

「まとまりのあるみどりによる区分」「流域による区分」「生物の生息分布状況による区分」から7つのゾーンに区分します。



1 追浜・田浦・逸見ゾーン

(1) ゾーン概況

1) 面積

1775.5ha

2) 市街地の分布

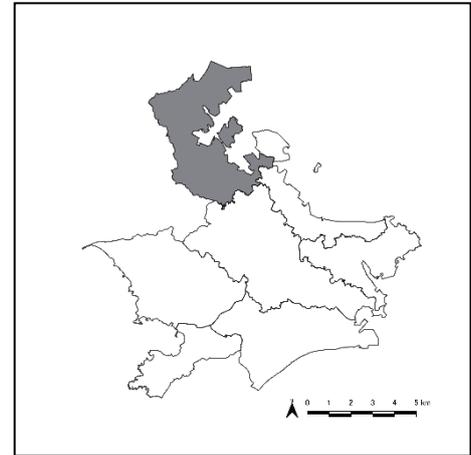
市街地は、東京湾側に広がっています。

3) 該当する町丁目

鷹取1～2丁目、追浜本町1～2丁目、夏島町、浦郷町1～5丁目、追浜東町1～3丁目、浜見台1～2丁目、追浜町1～3丁目、追浜南町1～3丁目、湘南鷹取1～6丁目、船越町1～8丁目、港が丘1～2丁目、田浦港町、田浦町1～6丁目、田浦大作町、田浦泉町、長浦町1～5丁目、箱崎町、安針台、吉倉町1～2丁目、西逸見町1～3丁目、山中町、東逸見町1～4丁目、逸見が丘、汐入町1～2・4～5丁目、本町2～3丁目、楠ヶ浦町

4) 関係する行政センター等

追浜行政センター、田浦行政センター、逸見行政センター、本庁



(2) みどりの特徴

緑 被 率	47.5% (令和7年度調査時点)
特徴的なみどり	鷹取山、田浦梅の里、県立塚山公園にかけて、円海山・北鎌倉から続く丘陵のみどりが存在しています。 夏島貝塚には、自然植生が残されています。 鷹取山周辺は、良好な自然環境が残っており、環境省のモニタリングサイト1000の調査サイトに選ばれています。
地域制緑地	県立塚山公園周辺は、塚山風致地区（第1種・第4種）に、田浦大作町周辺は神奈川県自然環境保全地域に指定されています。
農地（田・畑）	田浦地区の山側を中心に畑が点在しています。
斜面緑地	ゾーン全域に斜面緑地が多く存在しています。 市内に49カ所ある谷戸地域のうち約半数が本ゾーンにあります。
主な都市公園等	追浜公園、貝山緑地、鷹取山公園、田浦梅の里、南郷公園、ヴェルニー公園、県立塚山公園など。
生物多様性ホットスポット	鷹取山（神武寺の常緑広葉樹林）

(3) 流域区分と水辺地

流 域	鷹取川流域とその他の小流域の集まりで構成されています。 葉山町を流れる下山川の源流が山中町にあります。 田浦大作町、田浦泉町、西逸見町には、良好な水辺環境が残されています。
水 際 線	工業用地や防衛施設が多く、一般の人が立ち入ることのできる場所は少ないです。 横須賀本港に面したヴェルニー公園では、ボードウォークから海辺の景観を楽しむことができます。
水辺ビオトープ	一部の学校内に水辺ビオトープがあります。 追浜浄化センターに「トンボの王国」があります。

(4) 多くの生きものが見られる場所

● 鷹取山公園周辺

住宅地に隣接していながら、豊かな自然環境が残されており「神奈川生物多様性ホットスポット」に選ばれています。また、山頂からの眺めも良く「かながわの景勝 50 選」に選ばれており、休日にはハイキングに訪れる人が多いです。

植 物	丹沢・箱根と離れて分布する種	シバヤナギ、ツルシキミ、ヒメウツギ、ウラジロマタタビ、マルバアオダモ、ケイワタバコ
	本市では珍しい木本類	ムクロジ、ヤマコウバシ、ハチジョウクサイチゴ、ジャケツイバラ、イワガラミ
	本市では珍しい草本類	カシワバハグマ、コヤブタバコ、センボンヤリ、タカトウダイ、キクアザミ、ケイワタバコ、
鳥 類	樹林地で見られる種	アオゲラ、エナガ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、アオジ
昆 虫 類	樹林地の周辺で見られる種	オナガアゲハ、カラスアゲハ、クロアゲハ、モンキアゲハ、クルマバッタ、ニホントビナナフシ

(5) めざすみどりの将来像

1) まとまりのあるみどりの保全・活用

鷹取山、田浦梅の里、県立塚山公園を中心とした丘陵部の骨格となるみどりは、適切に保全するとともに、みどりが持つ機能をより発揮できるようにします。また、都市公園などのみどりの拠点は、必要に応じて市民がみどりに親しめる場として活用手法を検討します。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-7》風致地区制度の適切な運用 など
------	--

2) 地域の貴重な自然環境の保全・活用に向けた検討

ホタルなどの水生生物が豊富に見られる田浦大作町、泉町、西逸見町周辺、自然植生の残されている夏島貝塚、神奈川県生物多様性ホットスポットに選ばれている鷹取山など、地域の貴重な自然環境の保全、活用に向けて、必要に応じた検討をします。

主な施策	《3-1》森林・里山環境の保全と活用、《3-2》水辺環境の保全と活用 など
------	---------------------------------------

3) みどりの拠点の充実及び適切な維持管理の推進

プロスポーツチームと連携した追浜公園のほか、田浦梅の里やヴェルニー公園など多くの都市公園があります。また、田浦梅林まつり、三浦按針祭観桜会など、都市公園等では市内外から多くの人々が訪れるイベントが開催されています。これらみどりの拠点の充実及び適切な維持管理を行います。さらに、湘南鷹取地区の公園（湘南鷹取1丁目公園、鷹取公園等）では、多様なニーズを把握し、公園機能の再編、集約を図ります。

主な施策	《2-1》地域ニーズをふまえた公園機能の再編、 《2-3》集客や魅力あるまちづくりに資する公園の整備・管理 など
------	---

4) まちなかのみどりの保全・創出

東京湾側に広がっている市街地や工業地域では、ヒートアイランド現象がみられるため、まちなかのみどりの創出と機能の向上を目指し、快適環境の形成を目指します。ゾーン内に点在する斜面緑地は、多くが急傾斜地崩壊危険区域に指定されているため、安全を優先した保全のあり方の検討が必要です。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-4》公共施設におけるグリーンインフラの導入 など
------	---

5) 本市の魅力あるみどりに親しめる取組みの推進

鷹取山公園では、観察会をはじめとした環境教育など、本市の魅力あるみどりに親しめるイベント等を実施している「鷹取山自然観察会」などの団体の支援を推進します。

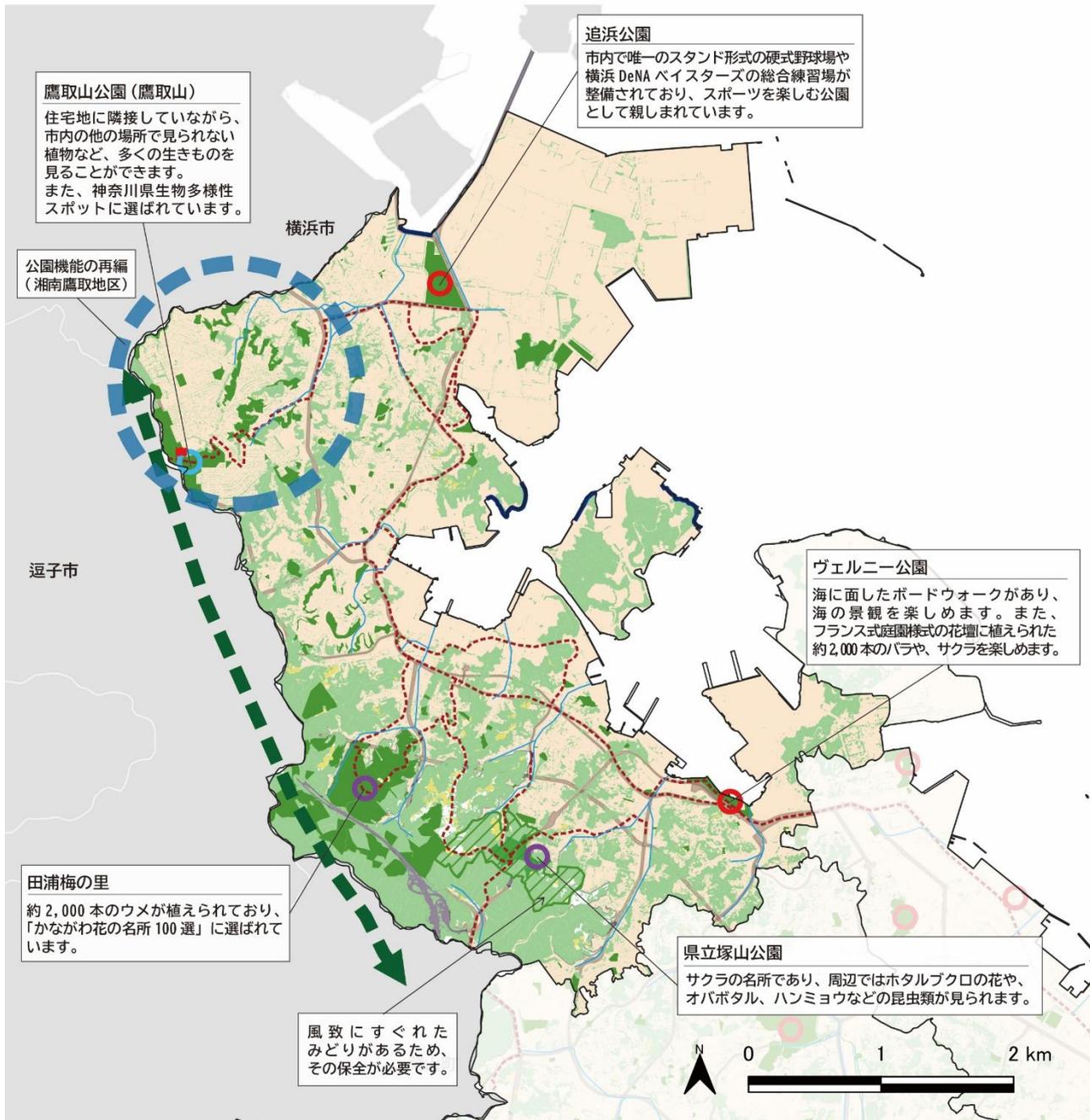
主な施策	《4-2》自然に関する環境教育・環境学習の実施 など
------	----------------------------

6) みどりの保全に向けた県や隣接する市町との連携

丘陵部のみどりは隣接する横浜市、逗子市、葉山町から連なって広がっています。これらを含む本市のみどりを保全するため、県及び隣接市町との連携を図ります。

主な施策	《1-13》県及び近隣自治体との広域的な連携の推進 など
------	------------------------------

- 拠点となるみどり(自然)
- 拠点となるみどり(交流)
- 拠点となるみどり(自然・交流)
- 近郊緑地保全区域・風致地区
- 河川
- 自然海岸
- - - プロムナード・散歩道
- かながわ生物多様性ホットスポット
- ◄ - - - ► みどりの保全・活用のための広域的な連携
- 市街化区域
- 都市公園
- 樹林地
- 農地



みどりの現況・課題・将来像 (追浜・田浦・逸見ゾーン)

2 東京湾沿岸ゾーン

(1) ゾーンの概況

1) 面積

853.7ha

2) 市街地の分布

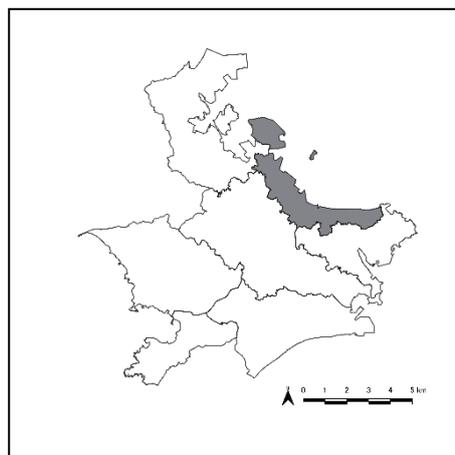
中心市街地が、平成町以北に広がっています。

3) 該当する町丁目

本町1丁目、稲岡町、泊町、猿島、新港町、小川町、大滝町1～2丁目、緑が丘、若松町1～3丁目、日の出町1～3丁目、米が浜通1～2丁目、平成町1～3丁目、安浦町1～3丁目、三春町1～6丁目、富士見町1丁目、田戸台、深田台、大津町1～5丁目、馬堀海岸1～4丁目、走水1丁目、馬堀町1～4丁目、桜が丘1丁目

4) 関係する行政センター等

本庁、大津行政センター



(2) みどりの特徴

緑被率	29.5% (令和7年度調査時点)
特徴的なみどり	緑被率は、7ゾーンのうち最小です。 諏訪公園、猿島公園、馬堀自然教育園には自然植生が残されています。 大津公園には地層観察のできる場所があります。
地域制緑地	走水周辺は、浦賀半島風致地区（第1種・第4種）に指定されています。
農地（田・畑）	ゾーン内に農地はほとんどありません。
斜面緑地	ゾーンの山側に斜面緑地が点在しています。
主な都市公園等	三笠公園、猿島公園、平和中央公園、うみかぜ公園、走水水源地公園、大津公園、馬堀自然教育園など。
生物多様性ホットスポット	猿島

(3) 流域区分と水辺地

流域	小流域の集まりで構成されています。
水際線	JR横須賀駅から観音崎までの海沿いを結んだ遊歩道「うみかぜの路（海と緑の10,000メートルプロムナード）」が整備されており、中間地点の破崎緑地は「関東の富士見百景」に選ばれています。 走水と猿島公園の一部には、自然海岸が残されています。
水辺ビオトープ	一部の学校内に水辺ビオトープがあります。 下町浄化センターに「トンボの王国」があります。
その他の水辺地	馬堀自然教育園には150mの水路が整備されています。 横須賀水道の始まりである走水水源地があります。

(4) 多くの生きものが見られる場所

● 猿島公園

東京湾（内湾）唯一の自然島で、自然植生や海岸植物が見られるだけでなく、キジョランを食草とするアサギマダラ（昆虫類、タテハチョウの仲間）なども確認されています。また、かつて旧陸・海軍の要塞として利用されており、豊かな自然と歴史的資産が残されています。

植 物	自然植生を構成する木本類	カラスザンショウ、シロダモ、タブノキ、トベラ、ヒサカキ、モチノキ、ヤブツバキ、ヤブニッケイ
	海岸植物	イソギク、イヨカズラ、ガクアジサイ、カジイチゴ、キジョラン、サカキカズラ、ハマウド、ヒゲスゲ、フウトウカズラ、ポタンボウフウ、ヤナギイチゴ
鳥 類	園内で見られる種	イソヒヨドリ、ウグイス、ウミウ、ウミネコ、クロサギ、メジロ
昆 虫 類	県内他地域と離れて記録がある種	アヤムナビロタマムシ、サタカミキリモドキ、ハスオビヒゲナガカミキリ、ハチジョウシギゾウムシ

● 馬堀自然教育園

国から譲与された旧軍用財産を、本市博物館付属の自然教育園として開園しました。園内では希少な生物が保護されており、水辺ではゲンジボタル、ハイケボタル、ミナミメダカ、トウキョウサンショウウオ、アカハライモリなどの繁殖と保護が行われています。アライグマ、ハクビシン、クリハラリス（タイワンリス）など外来種も確認されていますが、防除を実施しています。

植 物	園路から見られる貴重な種	ウラジロ、カントウカンアオイ、コシダ、キンラン、ヤマユリ
	園内で保護されている希少種	エビネ、シュンラン、ナギラン、ミヤマナルコユリ
哺 乳 類	園内で見られる種	アカネズミ、アズマモグラ
鳥 類		アオジ、コゲラ、シジュウカラ、シロハラ、メジロ
昆 虫 類		アオスジアゲハ、アサヒナカワトンボ、オオシオカラトンボ、ヒグラシ、ヤマトクロスジヘビトンボ、モンキアゲハ、ヨツボシモンシテムシ
両 生 類		アカハライモリ、トウキョウサンショウウオ
爬 虫 類		タカチホヘビ、ニホンカナヘビ、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ、ヒバカリ
淡 水 魚 類		ミナミメダカ
淡 水 甲 殻 類		サワガニ、ヌマエビ類

(5) めざすみどりの将来像

1) まちなかのみどりの保全・創出

グリーンインフラにより、ヒートアイランド現象の緩和など、まちなかの環境の快適化を目指します。また、みどりの拠点をつなぐ10,000メートルプロムナードにおいて、街路樹の適切な維持や、みどりの少ない場所への緑化などまちなかのみどりの保全、創出を図ります。ゾーン山側に点在する斜面緑地は、多くが急傾斜地崩壊危険区域に指定されているため、安全を優先した保全のあり方の検討が必要です。ゾーン東部は浦賀半島風致地区にあたるため、関係法令や基準の適切な運用により保全を図ります。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-4》公共施設におけるグリーンインフラの導入、 《1-7》風致地区制度の適切な運用 など
------	---

2) 地域の貴重な自然環境の保全・活用

自然植生の残された諏訪公園と猿島公園や、馬堀自然教育園周辺など、地域の貴重な自然環境の保全、活用に向けて、必要に応じた検討をします。

主な施策	《3-3》外来生物対策の推進、《3-4》指定文化財（天然記念物）の保全の継続 など
------	---

3) みどりの拠点の整備・活用

三笠公園、うみかぜ公園など東京湾沿いの水とみどりに親しめる拠点の整備、活用を推進します。特に三笠公園は Park-PFI 制度を用いた整備、活用を目指します。また、かつて軍の要塞として利用されていた猿島公園は、歴史的、文化的資産と一体となったみどりとして、市内外の人々に楽しんでもらえるよう保全、活用します。

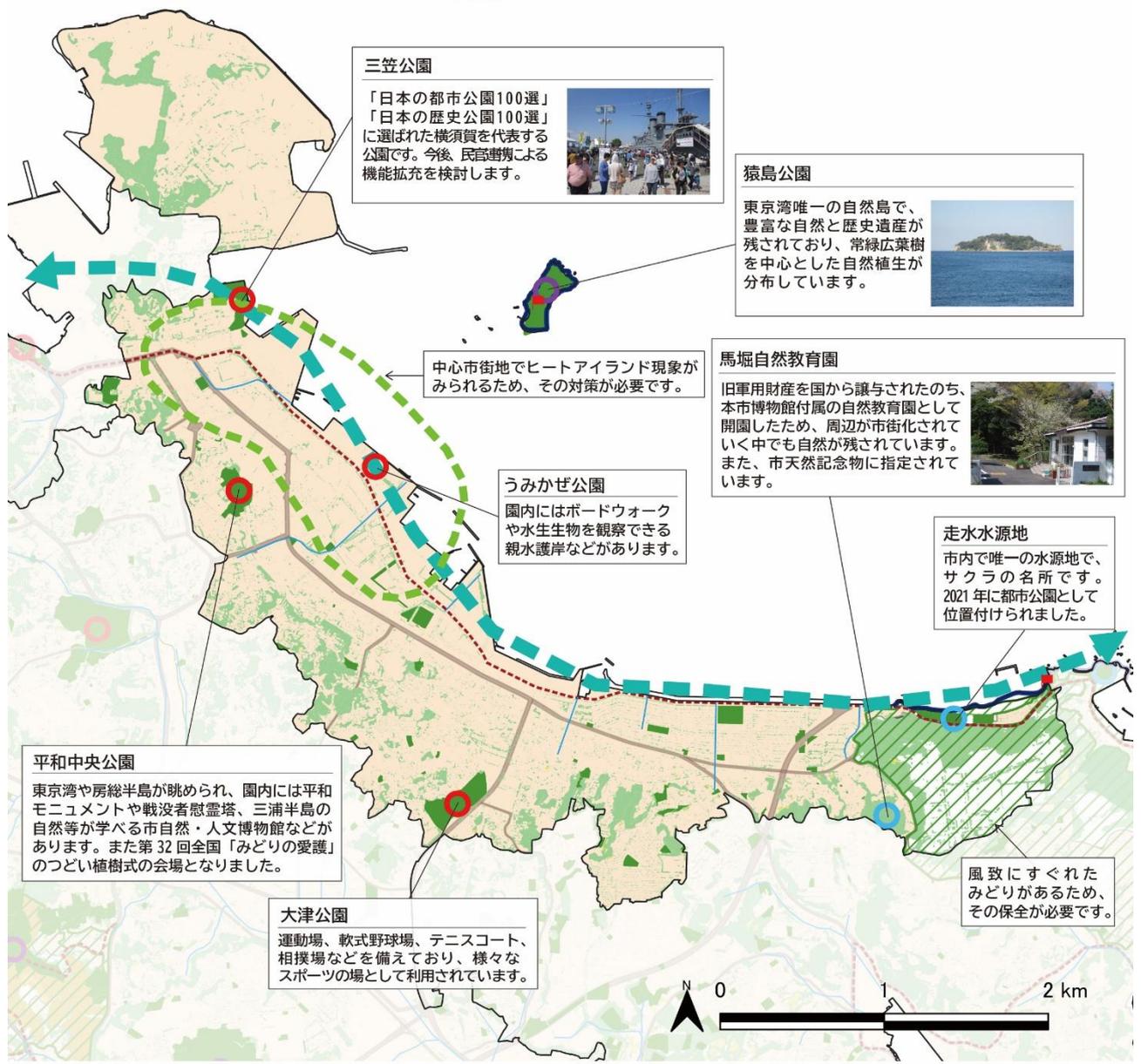
主な施策	《2-3》集客や魅力あるまちづくりに資する公園の整備・管理、 《2-4》効率的かつ効果的な公園の整備・活用の促進 など
------	--

4) 本市の魅力あるみどりに親しめる取組みの推進

自然・人文博物館や馬堀自然教育園など、研究や学習のできる拠点の充実及び適切な維持管理を行います。また、猿島の自然環境や遺跡、歴史、伝説について案内する「猿島公園専門ガイド協会」など、本市の魅力あるみどりに親しめるイベント等を実施している団体への支援を推進します。

主な施策	《4-1》みどりや生きものに対する意識の向上、 《4-2》自然に関する環境教育・環境学習の実施 など
------	---

- 拠点となるみどり(自然)
- 拠点となるみどり(交流)
- 拠点となるみどり(自然・交流)
- 近郊緑地保全区域・風致地区
- 河川
- 自然海岸
- - - プロムナード・散歩道
- かながわ生物多様性ホットスポット
- ⇄ 水辺空間の保全・活用
- 熱アイランド現象
- 市街化区域
- 都市公園
- 樹林地
- 農地



みどりの現況・課題・将来像（東京湾沿岸ゾーン）

3 浦賀・観音崎ゾーン

(1) ゾーンの概況

1) 面積

966.5ha

2) 市街地の分布

市街地は、浦賀駅周辺に広がっています。

3) 該当する町丁目

根岸町1～2丁目、走水2丁目、桜が丘2丁目、池田町1～3・6丁目、吉井1～4丁目、浦賀1～7丁目、浦上台1～4丁目、二葉1～2丁目、小原台、鴨居1～4丁目、東浦賀1～2丁目、浦賀丘1～3丁目、西浦賀1～6丁目、光風台、南浦賀

4) 関係する行政センター

大津行政センター、浦賀行政センター



(2) みどりの特徴

緑 被 率	47.1% (令和7年度調査時点)
特徴的なみどり	浦賀港を囲んでみどりが存在し、観音崎にまとまったみどりが残されています。旗山崎公園、千代ヶ崎砲台跡、燈明堂跡、浦賀ドック跡など歴史的資産があり、これらと一体となったみどりが多くあります。 県天然記念物に指定されている東叶神社の社叢林には自然植生が残されています。市天然記念物に指定されているモガシを含む自然林が残されています。
地域制緑地	観音崎周辺は、浦賀半島風致地区（第1種・第4種）に指定されています。
農地（田・畑）	浦賀周辺を中心に畑が点在しています。
斜面緑地	浦賀港を囲んで斜面緑地が点在しています。
主な都市公園等	県立観音崎公園、旗山崎公園、愛宕山公園、西浦賀みなと緑地など。
生物多様性ホットスポット	走水海岸、燈明堂跡付近、たたら浜、県立観音崎公園、東叶神社の社叢林

(3) 流域区分と水辺地

流 域	和田川などの小流域の集まりで構成されています。
水 際 線	観音崎周辺は、砂浜と岩礁の入り組んだ自然海岸が残されています。 浦賀港周辺は、住宅地が形成されています。
水辺ビオトープ	一部の学校内に水辺ビオトープがあります。
その他の水辺地	県立観音崎公園内にある池では様々な生きものを観察することができます。

(4) 多くの生きものが見られる場所

● 県立観音崎公園

日本初の洋式灯台が建つ岬に広がる公園で、自然植生の残る樹林地、自然海岸など多様な自然環境に囲まれており、園内には横須賀美術館、観音崎自然博物館があります。また、「かながわ花の名所 100 選」、「かながわの景勝 50 選」に選ばれています。

植 物	園内で見られる種	イソギク、ガクアジサイ、カントウヨメナ、キブシ、サザンカ、スイセン、タニウツギ、トネアザミ、ニリンソウ、ノコンギク、ハマナデシコ、ハンゲショウ、ヒガンバナ、ホトトギス、ヤブツバキ、ハマボッス、ラセータソウ、ハマカンゾウ、ツワブキ、キハギ、マルバハギ、ツルグミ、オオバグミ、ナワシログミ、タブノキ、コナラ、マテバシイ、スタジイ、クリ、クヌギ、カミヤツデ
	鳥 類	アオジ、イソヒヨドリ、エナガ、コゲラ、ツグミ、ノスリ
昆 虫 類	大型のチョウ類	カラスアゲハ、クロアゲハ、モンキアゲハ
	草原で見られる種	クルマバッターモドキ、ヒガシキリギリス
	林内で見られる種	ヒナカマキリ、キスジゴキブリ、トゲナナフシ

(5) めざすみどりの将来像

1) まとまりあるみどりの保全

県立観音崎公園の樹林地や、浦賀半島風致地区は、関係法令や基準の適切な運用により保全します。東京湾沿岸ゾーンとあわせて県立観音崎公園及び周辺の浦賀半島風致地区のみどりを保全します。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-7》風致地区制度の適切な運用 など
------	--

2) 地域の貴重な自然環境の保全・活用に向けた検討

東京湾に面した県立観音崎公園やたたら浜など、ゾーン内に5つある生物多様性ホットスポットをはじめ、地域の貴重な自然環境の保全、活用に向けて、必要に応じた検討をします。

主な施策	《3-1》森林・里山環境の保全と活用、《3-2》水辺環境の保全と活用、 《3-3》外来生物対策の推進 など
------	--

3) みどりの拠点の充実及び適切な維持管理の推進

浦賀周辺の浦賀ドック跡、燈明堂跡などの歴史的、文化的資産と一体となったみどりが 있습니다。また、破崎緑地、旗山崎公園、県立観音崎公園などのみどりの拠点が、これらの充実及び適切な維持管理を行い、さらに交流拠点としても活用します。

主な施策	《2-3》集客や魅力あるまちづくりに資する公園の整備・管理 など
------	----------------------------------

4) まちなかのみどりの保全・創出

浦賀駅周辺に広がっている市街地では、ヒートアイランド現象がみられるため、まちなかのみどりの創出と機能の向上を目指し、快適環境の形成を目指します。浦賀湾を囲むように分布している斜面緑地は、多くが急傾斜地崩壊危険区域に指定されているため、安全を優先した保全のあり方の検討が必要です。

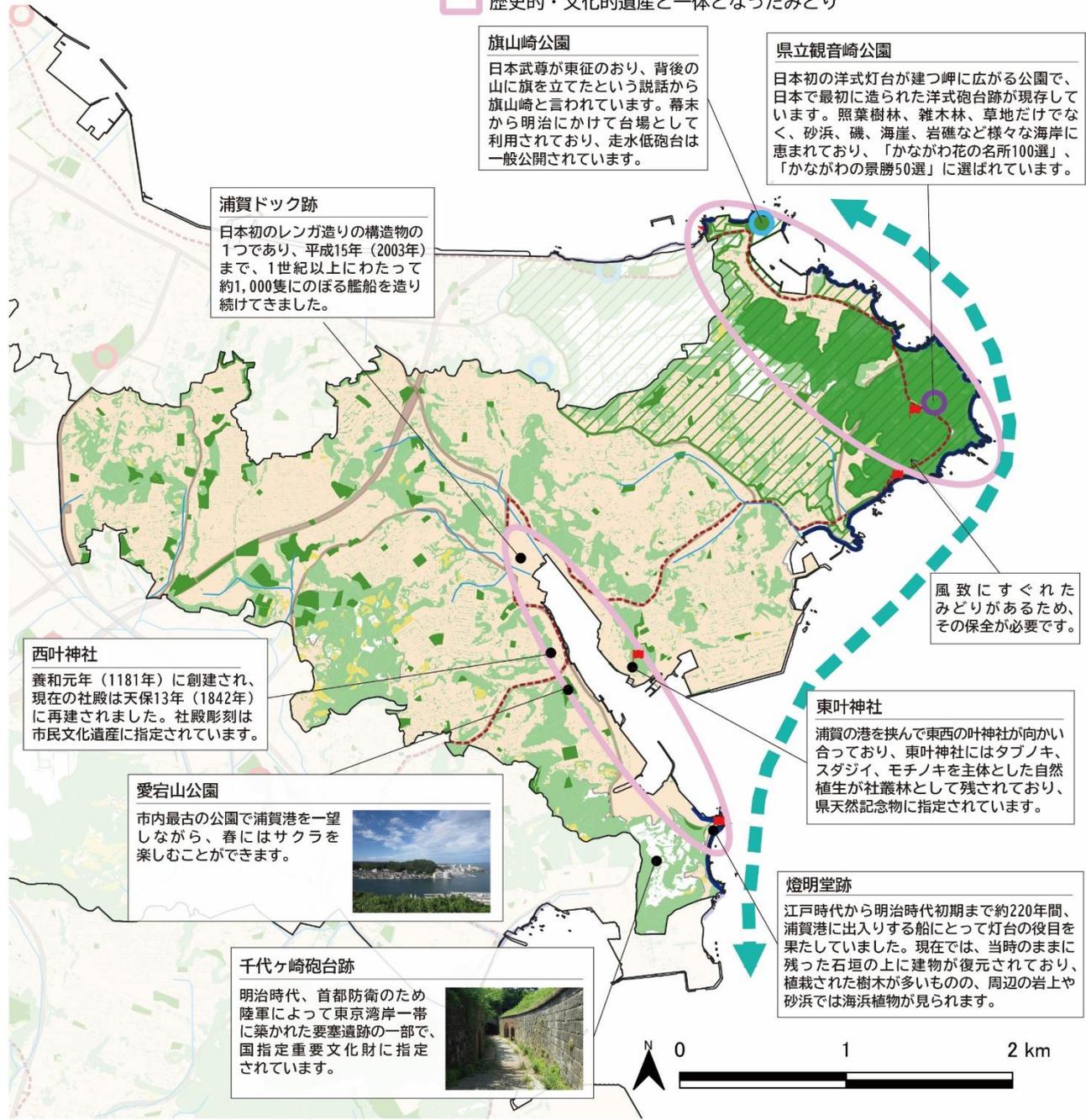
主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-4》公共施設におけるグリーンインフラの導入 など
------	---

5) 本市の魅力あるみどりに親しめる取組みの推進

観音崎の自然環境や近代化遺産、地層、浦賀水道を行き来する世界の船について案内する「観音崎公園フィールドレンジャーの会」など、本市の魅力あるみどりに親しめるイベント等を実施している団体の支援を推進します。

主な施策	《4-1》みどりや生きものに対する意識の向上、 《4-2》自然に関する環境教育・環境学習の実施 など
------	---

- 拠点となるみどり(自然)
- 拠点となるみどり(交流)
- 拠点となるみどり(自然・交流)
- 近郊緑地保全区域・風致地区
- 河川
- 自然海岸
- プロムナード・散歩道
- かながわ生物多様性ホットスポット
- ⇄ 水辺空間の保全・活用
- 歴史的・文化的遺産と一体となったみどり
- 市街化区域
- 都市公園
- 樹林地
- 農地



みどりの現況・課題・将来像(浦賀・観音崎ゾーン)

4 平作川流域ゾーン

(1) ゾーンの概況

1) 面積

2349.1ha

2) 市街地の分布

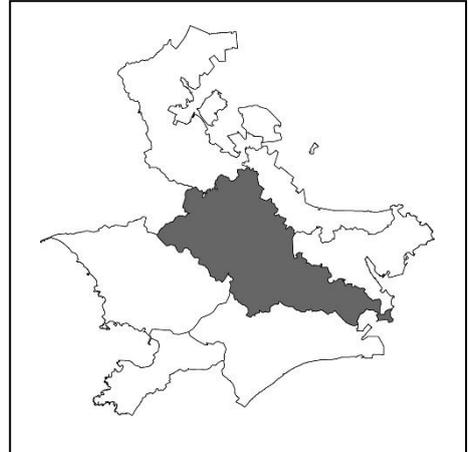
市街地は、平作川中～下流域を中心に広がっています。

3) 関係する行政センター等

本庁、衣笠行政センター、大津行政センター、久里浜行政センター

4) 該当する町丁目

坂本町1～6丁目、汐入町3丁目、富士見町2～3丁目、上町1～4丁目、不入斗町1～4丁目、鶴が丘1～2丁目、平和台、汐見台1～3丁目、望洋台、佐野町1～6丁目、公郷町1～6丁目、衣笠栄町1～4丁目、金谷1～3丁目、池上1～7丁目、阿部倉、平作1～8丁目、小矢部1～4丁目、衣笠町、大矢部1～6丁目、森崎1～6丁目、根岸町3～5丁目、池田町4～5丁目、久里浜台1～2丁目、長瀬1～3丁目、久比里1～2丁目、若宮台、舟倉1～2丁目、内川1～2丁目、内川新田、佐原1～5丁目、岩戸1～5丁目、久村、久里浜1～2・4～7丁目



(2) みどりの特徴

緑 被 率	44.0% (令和7年度調査時点)
特徴的なみどり	衣笠山を中心に、丘陵部のみどりが存在しており、大矢部や久村・佐原周辺にもまとまったみどりが残されています。 県天然記念物に指定されている大松寺には自然植生が残されています。
地域制緑地	衣笠山周辺は、衣笠・大楠山近郊緑地保全区域及び衣笠・大楠山近郊緑地特別保全地区、衣笠・大楠山風致地区(第1種・第4種)に指定されています。
農地(田・畑)	阿部倉・平作周辺、佐原・久村周辺を中心に畑が存在しています。
斜面緑地	ゾーン北側の平作川上～中流域に斜面緑地が点在しています。
主な都市公園等	しょうぶ園、不入斗公園、衣笠山公園、大矢部みどりの公園、佐原2丁目公園、久里浜1丁目公園、ペリー公園など。
生物多様性ホットスポット	大矢部みどりの公園(大矢部自衛隊跡地)

(3) 流域区分と水辺地

流 域	三浦半島最長の平作川流域で構成されています。
水 際 線	河口部に自然海岸がわずかに残されていますが、人工構造物が多いです。
水辺ビオトープ	一部の学校内に水辺ビオトープがあります。 かつてため池として利用されていた修景池がしょうぶ園と衣笠山公園にあります。
その他の水辺地	二級河川の平作川がゾーン内を横断しています。

(4) 多くの生きものが見られる場所

● 平作川

大楠山を源流とする三浦半島最長の河川で、上流部、中流部、下流部、河口付近、それぞれで様々な生物を観察することができます。

ア 上流部

阿部倉周辺の上流部には豊かな自然環境が残されており、夏でも涼しく水辺があるため大型のチョウ類が多く見られます。また、オオヨシノボリ（淡水魚類）、ヌマエビ（淡水甲殻類）なども確認されています。

植 物	最上流部で見られる種	イワボタン、ギンレイカ、ネコノメソウ、ニリンソウ
昆 虫 類	大型のチョウ類	カラスアゲハ、ジャコウアゲハ、ナガサキアゲハ、モンキアゲハ
	その他の見られる種	ミルヤンマ、オニヤンマ、アサヒナカワトンボ、フタスジモンカゲロウ、ヘビトンボ
淡 水 魚 類	最上流部で見られる種	アブラハヤ、ヨシノボリ類
水 生 甲 殻 類		サワガニ

イ 中流部

万葉公園～公郷橋周辺の中流部は、住宅が広がり、幹線道路沿いであるにも関わらず、草地があることからアオサギ、ハクセキレイ（鳥類）などの生物が見られます。しかし、コイやアカミミガメなどの外来生物も多く見られます。

鳥 類	中流部で見られる種	アオサギ、カルガモ、ハクセキレイ
昆 虫 類		シオカラトンボ、ハグロトンボ、アサヒナカワトンボ、シマアメンボ、ナミアメンボ
魚 類		オイカワ、ニホンウナギ、ヌマチチブ、フナ、ボラ、コイ
爬 虫 類	全域で見られる種	アカミミガメ（特定外来生物）
	中流部で見られる種	カミツキガメ（特定外来生物）

ウ 下流部

平作川は高低差が小さく、公郷町～五郎橋周辺まで潮汐影響を受けるため、下流部の環境が大半を占めます。小動物火葬施設の真崎橋～五郎橋周辺では、カワアナゴとマルタが市内で唯一確認されています。

鳥 類	下流部で見られる種	アオサギ、イソヒヨドリ、カワウ、カワラヒワ、ハクセキレイ
昆 虫 類	水辺で見られる種	シオカラトンボ、ナミアメンボ、ユスリカ類
魚 類	下流部で見られる種	アシシロハゼ、スミウキゴリ、カワアナゴ、チチブ、ボラ、マハゼ、マルタ
水 生 甲 殻 類		クロベンケイガニ、テナガエビ

エ 河口付近

平作川河口には自然海岸が残されており、コウボウムギ（海岸植物）が市内東京湾側で唯一自生しています。また、河口にかかる開国橋脇からは、上流に向かってクロダイやクサフグ（魚類）を見ることができます。

植 物	海岸植物	コウボウシバ、コウボウムギ、ハマヒルガオ
昆 虫 類	砂浜で見られる種	オオハサミムシ、スナゴミムシダマシ類、ヒョウタンゴミムシ
魚 類	河口付近で見られる種	アシシロハゼ、クサフグ、クロダイ、チチブ、ボラ、マハゼ、スズキ
水 生 甲 殻 類	砂浜で見られる種	スナガニ

(5) めざすみどりの将来像

1) 丘陵部の骨格となるみどりの保全

衣笠・大楠山近郊緑地保全区域及び衣笠・大楠山風致地区は、関係法令や基準を適切に運用することにより保全します。また、衣笠・大楠山特別緑地保全地区を含めた樹林地では、機能維持増進事業を進め、樹林地機能の向上を図ります。さらに、平作川の中～上流域を中心に生産緑地が点在しており、これら農地の保全と機能の向上を目指します。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-2》近郊緑地保全区域等の保全と近郊緑地特別保全地区指定の検討、《1-3》農地のみどりの保全、《1-7》風致地区制度の適切な運用 など
------	---

2) 地域の貴重な自然環境の保全・活用に向けた検討

平作川上流部には豊かな自然が残されており、その他平作川流域には、ホテル等の水生生物が見られる場所や、自然海岸が残る河口付近などがあります。また、大矢部みどりの公園は生物多様性ホットスポットに選定されています。これら地域の貴重な自然環境の保全、活用に向けて、必要に応じて検討します。

主な施策	《3-1》森林・里山環境の保全と活用、《3-2》水辺環境の保全と活用、 《3-3》外来生物対策の推進 など
------	--

3) みどりの拠点の充実及び適切な維持管理の推進

全国有数の規模を誇るしょうぶ園、鎌倉幕府の礎を築いた三浦一族ゆかりの地である衣笠山公園や大矢部みどりの公園、プロサッカーチームと連携した久里浜1丁目公園など、平作川流域には全域的に様々な都市公園等があります。それぞれのみどりの機能や個性を活かせるよう、これらのみどりの拠点の適切な維持管理を行い、交流拠点として活用します。また大矢部みどりの公園について、Park-PFIを活用した整備を進めるとともに、公園のスペースを活かした災害時の物流拠点としても機能するように、防災力の向上に向けた整備も進めていきます。

主な施策	《2-2》安全・安心と防災力のある公園づくり、《2-3》集客や魅力あるまちづくりに資する公園の整備・管理、《2-4》効率的かつ効果的な公園の整備・活用の促進 など
------	---

4) まちなかのみどりの保全・創出

平作川中～下流域に広がっている市街地や工業地域では、まちなかのみどりの創出と機能の向上を目指し、快適環境の形成を図ります。ゾーン内に点在する斜面緑地は、多くが急傾斜地崩壊危険区域に指定されているため、安全を優先した保全のあり方の検討が必要です。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-4》公共施設におけるグリーンインフラの導入 など
------	---

5) 本市の魅力あるみどりに親しめる取組みの推進

衣笠山公園で活動している「1000年の森を守る会」など、本市の魅力あるみどりに親しめるイベント等を実施している団体の支援を推進するとともに、環境教育の場と機会を提供します。また、大矢部みどりの公園の貴重な自然環境を活用した学習プログラムの実施について検討します。

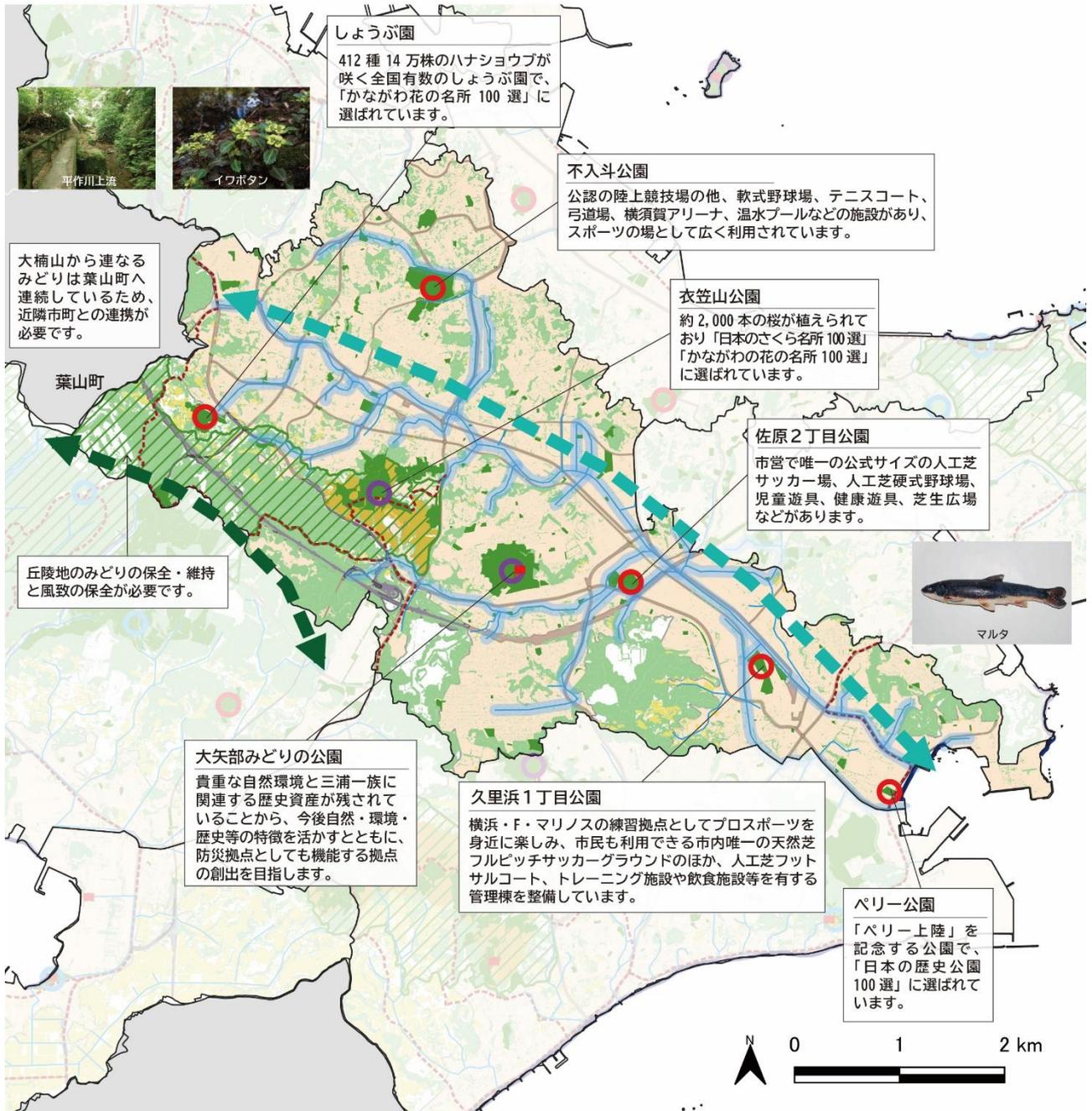
主な施策	《4-1》みどりや生きものに対する意識の向上、 《4-2》自然に関する環境教育・環境学習の実施 など
------	---

6) みどりの保全に向けた県や隣接する市町との連携

丘陵部のみどりは隣接する葉山町から連なって広がっています。これらを含む本市のみどりを保全するため、県及び隣接市町との連携を図ります。

主な施策	《1-13》県及び近隣自治体との広域的な連携の推進 など
------	------------------------------

- 拠点となるみどり(自然)
- 拠点となるみどり(交流)
- 拠点となるみどり(自然・交流)
- 近郊緑地特別保全地区
- 近郊緑地保全区域・風致地区
- 平作川などの値域の貴重な自然環境
- 河川
- 自然海岸
- プロムナード・散歩道
- かながわ生物多様性ホットスポット
- ←→ みどりの保全・活用のための広域的な連携
- ←→ 水辺空間の保全・活用
- 市街化区域
- 都市公園
- 樹林地
- 農地



みどりの現況・課題・将来像（平作川流域ゾーン）

5 武山・野比ゾーン

(1) ゾーンの概況

1) 面積

1597.0ha

2) 市街地の分布

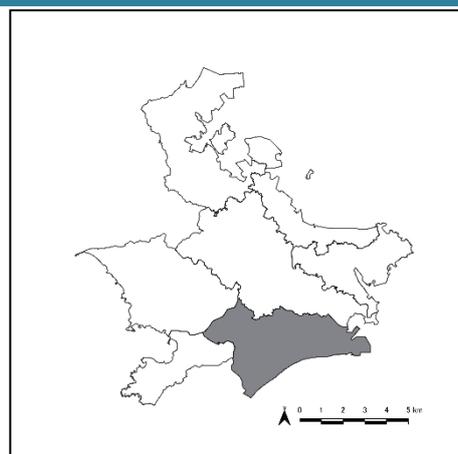
市街地は、主に海岸沿いに形成されています。

3) 該当する町丁目

久里浜3・8～9丁目、神明町、ハイランド1～5丁目、野比1～5丁目、粟田1～2丁目、光の丘、長沢1～6丁目、グリーンハイツ、津久井1～5丁目、武1・3丁目

4) 関係する行政センター

久里浜行政センター、北下浦行政センター、西行政センター



(2) みどりの特徴

緑 被 率	58.5% (令和7年度調査時点)
特徴的なみどり	武山、野比を中心に、大楠山から連なる丘陵部のみどりが存在しています。三島社、武山不動尊周辺、住吉神社、白髭神社には自然植生が残されています。光の丘水辺公園は環境省のモニタリングサイト1000の調査サイトに選ばれている他、野比かがみ田緑地は自然共生サイトに登録されています。
地域制緑地	武山周辺は、武山近郊緑地保全区域及び武山特別緑地保全地区、武山風致地区（第1種・第4種）に指定されています。
農地（田・畑）	津久井、長沢周辺に果樹を中心とした農地が広がっています。
斜面緑地	ゾーン北部の粟田、ハイランドに斜面緑地が点在しています。
主な都市公園等	くりはま花の国、光の丘水辺公園、西公園など。
生物多様性ホットスポット	武山の谷戸群（旧鬼ヶ谷戸地区）、野比かがみ田緑地（谷戸ノ田・かがみ田）

(3) 流域区分と水辺地

流 域	野比川、長沢川、津久井川などの流域と小流域の集まりで構成されています。特に、武山、野比には、良好な水環境が残されています。
水 際 線	野比から津久井にかけて自然海岸が残されています。
水辺ビオトープ	一部の学校内に水辺ビオトープがあります。農業用のため池が点在しています。

(4) 多くの生きものが見られる場所

● 武山

三浦半島中央に位置する標高約 200m の山で、山頂には三浦半島一番札所の龍塚山持経寺武山不動院があります。武山不動尊周辺には、約 2,000 本のツツジが植えられており、展望台からは東京湾と房総半島、三浦半島の先端、その先には伊豆大島、相模湾を隔てて伊豆半島、富士山を望めることから「関東の富士見百景」にも選ばれています。

植 物	見られる種	イワボタン、カントウカンアオイ、クロヤツシロラン、ミヤマキケマン
-----	-------	----------------------------------

● 光の丘水辺公園

横須賀リサーチパークの一角にある公園で、三浦半島の生物の保存と復元をめざしています。園内のニリンソウやハンゲショウの群生地は、期間限定で開放します。水辺公園友の会により、モニタリングが継続して実施し、環境省のモニタリングサイトにも選ばれ、自然環境の変化が継続して把握されています。

植 物	園内で見られる草本類	ウラシマソウ、ヒメガマ、ガマ、コガマ、カラスビシャク、コ克蘭、タシロラン、ニリンソウ、ハンゲショウ、ハンショウヅル、ヒヨドリジョウゴ、ホタルブクロ、ヤマホトトギス
鳥 類	園内で見られる種	アオゲラ、ウグイス、カルガモ、カワセミ、コゲラ、シジュウカラ、ノスリ、ホオジロ、メジロ、モズ、ヤマガラ
昆 虫 類		オオキンカメモシ、ギンヤンマ、カブトムシ、カラスアゲハ、ハネナシコロギス、クロカナブン、オバボタル
両生・爬虫類		シマヘビ、マムシ、シュレーゲルアオガエル、ヤマアカガエル、トウキョウサンショウウオ、ヒバカリ、アズマヒキガエル、タカチホヘビ、シロマダラ

● 野比かがみ田緑地

かがみ田緑地で、里山的環境を保全しています。自然環境団体によるモニタリングを継続して実施しており、自然環境の変化が継続して把握されています。

植 物	水辺で見られる種	カササゲ、セリ、ハンゲショウ、ミゾソバ、ヨシ、オオバタネツケバナ、ミズタネツケバナ
昆 虫 類	水辺で見られる種	ゲンジボタル、ハイケボタル、ヤマサナエ、クロスジギンヤンマ
貝 類	水辺で見られる種	マルタニシ
両生・爬虫類	水辺で見られる種	シュレーゲルアオガエル、ヤマアカガエル

(5) めざすみどりの将来像

1) 丘陵部の骨格となるみどりの保全

くりはま花の国の樹林地や、武山近郊緑地保全区域及び武山近郊緑地特別保全地区、武山風致地区は、関係法令や基準の適切な運用により、土地利用行為等の規制、当該地の適切な保全、活用などを行います。また、ゾーン内に広がっている農地の保全と機能の向上を図ります。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-2》近郊緑地保全区域等の保全と近郊緑地特別保全地区指定の検討、《1-3》農地のみどりの保全、《1-7》風致地区制度の適切な運用 など
------	---

2) 地域の貴重な自然環境の保全・活用に向けた検討

自然植生が残る武山不動尊周辺、三島社、野比周辺と光の丘水辺公園、自然共生サイトに認定されている野比かがみ田緑地などがあります。これら地域の貴重な自然環境の保全、活用に向けて、必要に応じた検討をします。

主な施策	《3-1》森林・里山環境の保全と活用、《3-2》水辺環境の保全と活用、《3-3》外来生物対策の推進 など
------	--

3) みどりの拠点の充実及び適切な維持管理の推進

本市を代表する花とみどりの名所であるくりはま花の国などでは、みどりの拠点の充実及び適切な維持管理と活用を行います。

主な施策	《2-3》集客や魅力あるまちづくりに資する公園の整備・管理 など
------	----------------------------------

4) まちなかのみどりの保全・創出

海岸沿いに広がっている市街地では、まちなかのみどりの創出と機能を向上させ、快適環境の形成を目指します。ゾーン北部に点在する斜面緑地は、多くが急傾斜地崩壊危険区域に指定されているため、安全を優先した保全のあり方の検討が必要です。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-4》公共施設におけるグリーンインフラの導入 など
------	---

5) 本市の魅力あるみどりに親しめる取組みの推進

野比周辺には、かつて生産や生活の場として利用されていた里山的環境や風景が残されています。野比かがみ田谷戸での「里山的環境の再生・活用事業」を通じて市民の憩い、環境教育など、本市の魅力あるみどりに親しめる事業を推進します。

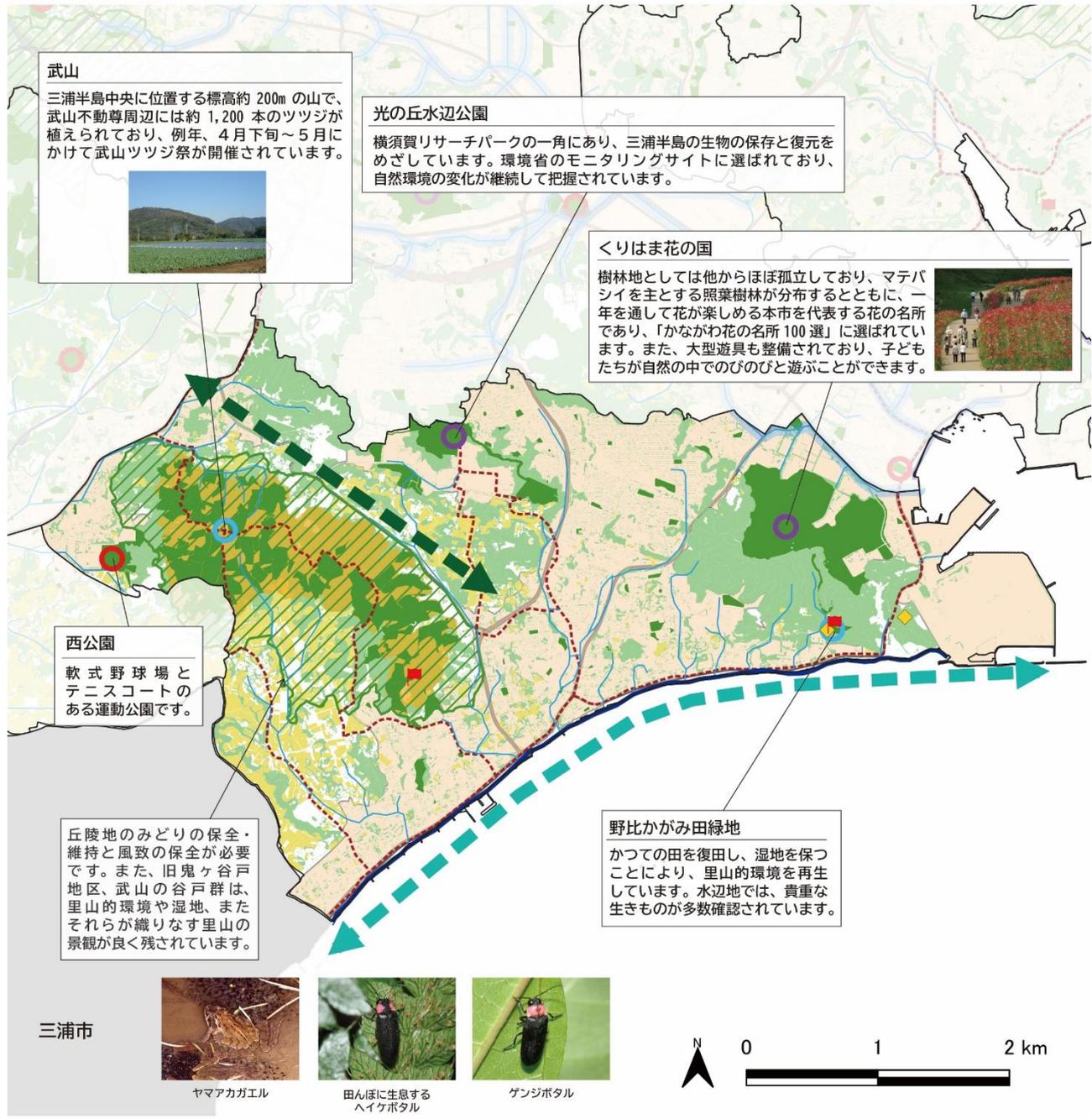
主な施策	《4-1》みどりや生きものに対する意識の向上、 《4-2》自然に関する環境教育・環境学習の実施 など
------	---

6) みどりの保全に向けた県や隣接する市町との連携

隣接する三浦市へ連続する農地のみどりと金田湾側の自然海岸など、本市のみどりを保全するために県及び隣接市町との連携を図ります。

主な施策	《1-13》県及び近隣自治体との広域的な連携の推進 など
------	------------------------------

- 拠点となるみどり(自然)
- 拠点となるみどり(交流)
- 拠点となるみどり(自然・交流)
- 近郊緑地特別保全地区
- 近郊緑地保全区域・風致地区
- 河川
- 自然海岸
- - - プロムナード・散歩道
- かながわ生物多様性ホットスポット
- ◆ 自然共生サイト
- - - みどりの保全・活用のための広域的な連携
- - - 水辺空間の保全・活用
- 市街化区域
- 都市公園
- 樹林地
- 農地



みどりの現況・課題・将来像（武山・野比ゾーン）

6 長井ゾーン

(1) ゾーンの概況

1) 面積

719.1ha

2) 市街地の分布

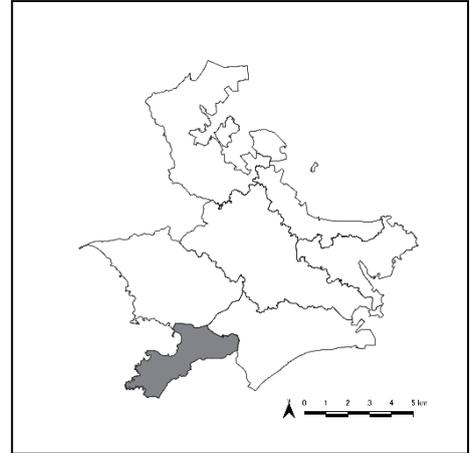
相模湾沿いに、漁港施設や住宅が多く分布しています。

3) 該当する町丁目

長井1～6丁目、御幸浜、林2～5丁目、須軽谷

4) 関係する行政センター

西行政センター



(2) みどりの特徴

緑 被 率	65.1% (令和7年度調査時点)
特徴的なみどり	平坦な台地と低地が広がり、農地のみどりが広がっています。 荒崎公園には自然植生が残されています。
地 域 制 緑 地	荒崎公園周辺は、荒崎風致地区(第4種)に指定されています。
農地(田・畑)	長井、須軽谷周辺を中心に畑が広がっています。
斜 面 緑 地	長井周辺には平坦な台地が連なっており、斜面緑地は非常に少ないです。
主な都市公園	荒崎公園、長井海の手公園(ソレイユの丘)、富浦公園など。
生物多様性ホットスポット	荒崎海岸、小田和湾、富浦公園、御幸浜

(3) 流域区分と水辺地

流 域	川間川流域と小流域の集まりで構成されています。
水 際 線	長井漁港から長浜海岸にかけて自然海岸が残されています。 小田和湾には、本市にはわずかとなった干潟があります。
水辺ビオトープ	農業用のため池が点在しています。

(4) 多くの生きものが見られる場所

● 小田和湾

本市にはわずかとなった干潟が残されており、エビやカニなどの甲殻類や貝類、鳥類がよく見られます。

水生甲殻類	干潟で見られる種	ユビナガホンヤドカリ、コブヨコバサミ、タイウンガザミ、マメコブシガニ、ヒラテコブシ、ヒライソガニ、タカノケフサイソガニ
貝類		ウミニナ、ホソウミニナ、アラムシロガイ、マガキ
鳥類		チュウシャクシギ、オナガガモ、キアシシギ、ヒドリガモ、ミサゴ

● 荒崎公園

園内の樹林地には常緑樹主体の自然植生が残されており、自然が創造した美しい岩場が続く自然海岸では海岸植物が見られます。また、三浦半島屈指の景観が楽しみ、「かながわの景勝 50 選」にも選ばれており、ハイキングコースも整備されています。クロマツの減少が懸念されています。

植 物	自然植生を構成する木本類	シロダモ、タブノキ、トベラ、シャリンバイ、モチノキ、ヤブニツケイ
	海岸植物	クロマツ、スカシユリ、ソナレムグラ、ハチジョウナ、ヒロハクサフジ、マルバシャリンバイ、ワダン、トウオオバコ
昆 虫 類	クロマツに依存する種	シロスジコガネ、ウバタマムシ
	海浜性の種	イソジョウカイモドキ、クロキジョウカイモドキ、クロコブセスジダルマガムシ
	大型のチョウ類	カラスアゲハ、アオスジアゲハ
魚 類		カエルウオ、クモハゼ、アゴハゼ、シマスズメダイ
水生甲殻類	海岸付近で見られる種	イソガニ、イワフジツボ、カクベンケイガニ、ケフサイソガニ、スジエビモドキ
貝 類	岩場で見られる種	アラレタマキビ、イシダタミ、イボタマキビ、タマキビ、タデジマフジツボ、ホソウミニナ

● 長浜海岸

市内の海岸の中でも水の透明度が高く、マリンスポーツのスポットとしても人気があります。海岸の崖上では本市において貴重な海岸植物であるソナレマツムシソウが見られます。

植 物	海岸植物	コガンピ、スカシユリ、ソナレムグラ、ネコノシタ、ハマアキノキリンソウ、ハマナデシコ、ハマボウフウ、ヒメオニヤブソテツ
-----	------	--

(5) めざすみどりの将来像

1) まとまりあるみどりの保全

荒崎公園周辺の荒崎風致地区は、関係法令や基準の適切な運用により保全します。また、ゾーン内に広がっている農地の保全と機能の向上を図ります。

主な施策	《1-3》農地のみどりの保全、《1-7》風致地区制度の適切な運用 など
------	-------------------------------------

2) 地域の自然環境の保全・活用に向けた検討

自然海岸が残されている長井港から長浜海岸、干潟のある小田和湾、神奈川県生物多様性ホットスポットに選ばれている御幸浜と富浦公園など貴重な水辺環境が多くあります。これら地域の貴重な自然環境の保全や活用に向け、必要に応じた検討をします。また、農作物被害の低減のため、外来生物等の防除を進めます。藻場を造成しています。

主な施策	《3-2》水辺環境の保全と活用、《3-3》外来生物対策の推進 など
------	-----------------------------------

3) みどりの拠点の充実及び適切な維持管理の推進

農業体験型総合公園の長井海の手公園（ソレイユの丘）、三浦半島屈指の景観を楽しめる荒崎公園など、みどりの拠点の充実及び適切な維持管理を行います。さらに、これらが交流拠点となるよう活用するとともに、長浜海岸から富浦公園を巡る国土交通省「関東ふれあいの道」など、拠点をつなぐみどりの保全、活用を行います。

主な施策	《2-3》集客や魅力あるまちづくりに資する公園の整備・管理、 《2-4》効率的かつ効果的な公園の整備・活用の促進 など
------	--

4) 本市の魅力あるみどりと親しめる取組みの推進

荒崎海岸クリーン活動を実施している「地域の未来を考える会 WAFU」など、本市の魅力あるみどりに親しめるイベント等を実施している団体の支援を推進します。

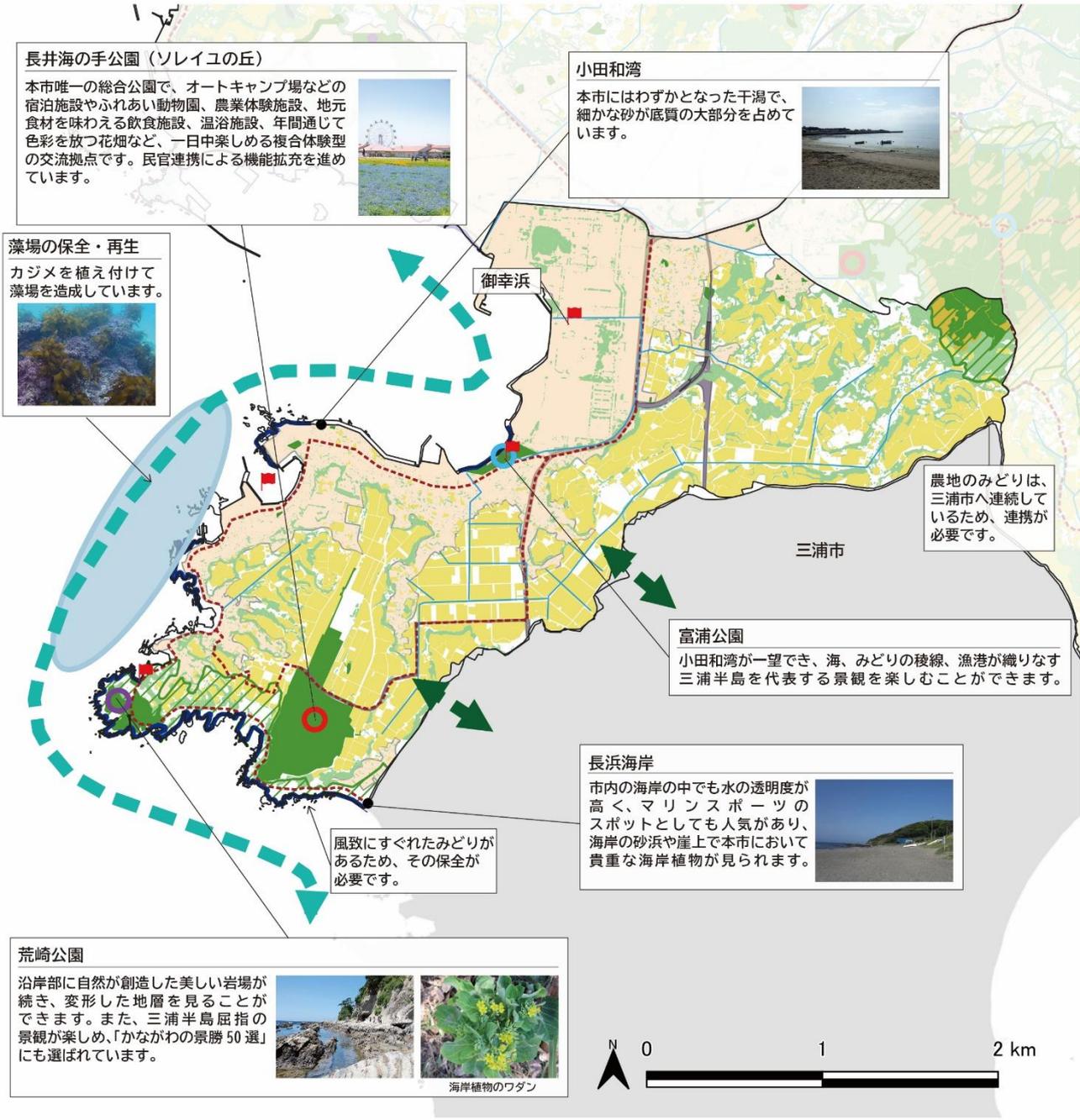
主な施策	《4-1》みどりや生きものに対する意識の向上、 《4-2》自然に関する環境教育・環境学習の実施 など
------	---

5) みどりの保全に向けた県や隣接する市町との連携

隣接する三浦市へ連続する農地のみどりと相模湾側の自然海岸など、本市のみどりを保全するために県及び隣接市町との連携を図ります。

主な施策	《1-13》県及び近隣自治体との広域的な連携の推進 など
------	------------------------------

- 拠点となるみどり(自然)
- 拠点となるみどり(交流)
- 拠点となるみどり(自然・交流)
- 近郊緑地特別保全地区
- 近郊緑地保全区域・風致地区
- 河川
- 自然海岸
- - - プロムナード・散歩道
- かながわ生物多様性ホットスポット
- - - みどりの保全・活用のための広域的な連携
- - - 水辺空間の保全・活用
- 藻場の保全・再生
- 市街化区域
- 都市公園
- 樹林地
- 農地



みどりの現況・課題・将来像 (長井ゾーン)

7 大楠山ゾーン

(1) ゾーンの概況

1) 面積

1822.1ha

2) 市街地の分布

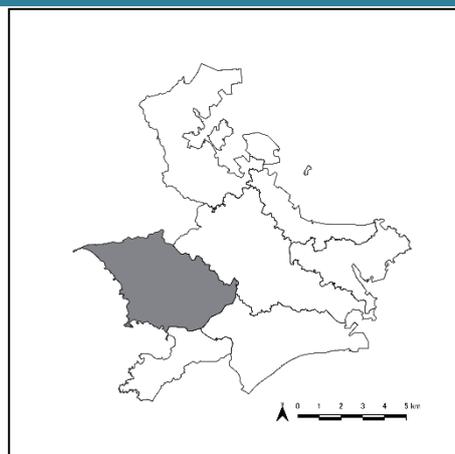
秋谷から佐島の相模湾沿いには住宅地が多くあります。

3) 該当する町丁目

林1丁目、武2・4～5丁目、山科台、太田和1～5丁目、荻野、長坂1～5丁目、佐島1～3丁目、芦名1～3丁目、秋谷1～4丁目、秋谷、子安、湘南国際村1～3丁目、佐島の丘1～2丁目

4) 関係する行政センター

西行政センター



(2) みどりの特徴

緑 被 率	75.1% (令和7年度調査時点)
特徴的なみどり	大楠山を中心に、広く丘陵部のみどりが存在しています。緑被率は、7ゾーンのうち最大で、市内でもっともみどりが豊かなゾーンと言えます。 三浦正八幡宮に自然植生が残されています。 長者ヶ崎、立石公園は、「かながわの景勝50選」に選ばれています。 市民や企業、行政が協働参加型で森づくりをおこなっている湘南国際村めぐりの森があります。
地域制緑地	ゾーン北側は、衣笠・大楠山近郊緑地保全区域及び衣笠・大楠山近郊緑地特別保全地区、衣笠・大楠山風致地区(第1種・第4種)に指定されています。
農地(田・畑)	秋谷、芦名、長坂、太田和周辺を中心に畑が存在しています。
斜面緑地	秋谷や太田和周辺に斜面緑地が点在しています。
主な都市公園等	立石公園、太田和つつじの丘、佐島の丘公園、天神島臨海自然教育園、長坂緑地など。
生物多様性ホットスポット	天神島・笠島、峯山大池と棚田跡

(3) 流域区分と水辺地

流 域	豊かな自然が残る前田川、関根川などの流域の集まりで構成されています。
水 際 線	長者ヶ崎から芦名まで、及び小田和湾に面した天神島臨海自然教育園から齊田浜には自然海岸が残されています。 立石海岸は「関東の富士見百景」に選ばれています。 秋谷の立石と長者ヶ崎は、「かながわの景勝50選」に選ばれています。
水辺ビオトープ	一部の学校内に水辺ビオトープがあります。 かつて農業に利用されたため池が点在しています。

(4) 多くの生きものが見られる場所

● 大楠山

三浦半島最高峰、標高約 240m の山で、山頂では様々な生物が観察できるとともに、天気の良い日には富士山、南アルプス、伊豆半島が望め、「関東の富士見百景」、「かながわの景勝 50 選」に選ばれています。様々な野鳥や、湘南国際村めぐりの森周辺で大型のチョウ類が見られるなど自然が豊かであることから、四季を通じて多くの人が訪れています。

植 物	丹沢、箱根と離れて分布する種	ツルデンダ、ノコギリシ
	環境の変化を受けやすい珍しい種	クロヤツシロラン、カゲロウラン、ナギラン、ハチジョウシュスラン
昆 虫 類	市内では珍しい種	ミヤマカラスアゲハ、クルマバッタ、ヒメマイマイカブリ
鳥 類	猛禽類	オオタカ、ノスリ

● 前田川

大楠山を水源とする全長約 3.5 km の小河川ですが、三浦半島では自然が残された数少ない川のひとつで、親水施設が整備されています。また、前田川上流は、市内でもっとも多くの種類の鳥類を観察できる場所のひとつです。

植 物	川岸で見られる種	イワボタン、タニギキョウ、ニリンソウ
鳥 類	上流部で見られる種	アオゲラ、オオルリ、キビタキ
	下流部で見られる種	キジバト、シジュウカラ、メジロ、ヤマガラ
昆 虫 類	河川で見られる種	カルガモ、カワセミ、キセキレイ、コサギ
魚 類		ゲンジボタル、コオニヤンマ、オオヤマカワゲラ、ヘビトンボ
水生甲殻類		アブラハヤ、アユ、スミウキゴリ、ヌマチチブ、ヨシノボリ類
		サワガニ、スジエビ、ヌマエビ、ヒラテテナガエビ、ミナミテナガエビ、モクズガニ

● 天神島・笠島

ハマオモト（ハマユウ）の自然分布の北限地として、県の名勝及び天然記念物に指定されており、「かながわ花の名所 100 選」に選ばれています。天神島臨海自然教育園があり、天神島周辺の生物を学ぶ拠点となっています。

植 物	海岸植物	アイアシ、イソヤマテンツキ、クサスギカズラ、ケカモノハシ、スカシユリ、ハチジョウナ、ハマオモト、ハマカンゾウ、ハマゴウ、ハマナデシコ、ヒトモトススキ、ホソバハマアカザ、トベラ、シャリンバイ、ハマゼリ、ハママツナ
鳥 類	園内で見られる種	アオサギ、イソシギ、イソヒヨドリ、ウミウ、ウミネコ、オオミズナギドリ、カワセミ、クロサギ、コサギ、ツグミ
昆 虫 類	海岸で見られる種	ハマオモトヨトウ、イソカネタタキ、ウスモンナギサズ、コカスリウスバカゲロウ、ヒョウタンゴミムシ

● 長坂緑地

かつて農業用ため池として利用されていた沢山池があり、豊かな自然が残っています。林内にはニリンソウ、湿地にはタコノアシ、自然環境団体によるモニタリング調査を継続して多様な環境であることを裏付ける特徴的な植物、昆虫類が見られます。

植 物	水辺で見られる種	タコノアシ、セリ、ミゾソバ、ヨシ、シロダモ、アオウキクサ
	樹林地で見られる種	ニリンソウ、ツリフネソウ、ノイバラ、ハコネウツギ、コナラ、ヤブツルアズキ、コナギ、ニガカシュウ、センニンソウ、カラスウリ、ヤブミヨウガ、ツルニンジン
昆 虫 類	水辺で見られる種	ゲンジボタル、アサヒナカワトンボ、ハグロトンボ、ヤマサナエ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ミイデラゴミムシ、フタスジモンカゲロウ
両生・爬虫類	水辺で見られる種	シュレーゲルアオガエル、ヤマアカガエル、アズマヒキガエル、カナヘビ、ニホントカゲ
鳥 類	緑地内で見られる種	コガモ、カルガモ、キンクロハジロ、アオサギ、カウセミ、ヒヨドリ、ウグイス、キビタキ、センダイムシクイ、ヤブサメ、サシバ、ミゾゴイ、カイツブリ、ホオジロ

(5) めざすみどりの将来像

1) まとまりのあるみどりの保全・活用

大楠山を中心とする衣笠・大楠山近郊緑地保全区域及び衣笠・大楠山近郊緑地特別保全地区、衣笠・大楠山風致地区は、関係法令や基準の適切な運用により、保全するとともに、樹林地の機能維持増進事業を進めます。また、大楠山から前田川の流域にかけての樹林地について、近郊緑地特別保全地区の指定に向けた検討を進めます。さらに、ゾーン内に広がっている農地の保全と機能の向上を図ります。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-2》近郊緑地保全区域等の保全と近郊緑地特別保全地区指定の検討、《1-3》農地のみどりの保全 など
------	---

2) 地域の貴重な自然環境の保全・活用に向けた検討

里山的環境が残された長坂緑地や自然豊かな前田川、自然共生サイトに認定された芦名堰や湘南国際村めぐりの森などがあります。これら地域の貴重な自然環境は、保全や活用に向け、必要に応じた検討をします。

主な施策	《1-10》「湘南国際村めぐりの森」及び「重点的に緑地の保全に配慮を加えるべき地区」に関する緑地の保全・再生等、《3-1》森林・里山環境の保全と活用、《3-2》水辺環境の保全と活用、《3-3》外来生物対策の推進 など
------	--

3) みどりの拠点の充実及び適切な維持管理の推進

自然海岸や大楠山をはじめとした樹林地に訪れた市内外の人々が、安心してみどりに親しめるよう、みどりの拠点の充実及び適切な維持管理を行います。また、長坂緑地の豊かな自然環境や立石公園の自然景観を活かした魅力ある公園づくりを進めます。さらに長坂緑地については、公園のスペースを活かした物流拠点としても機能するように、防災力の向上に向けた整備も進めていきます。

主な施策	《2-2》安全・安心と防災力のある公園づくり、 《2-3》集客や魅力あるまちづくりに資する公園の整備・管理 など
------	---

4) 安全を優先したみどりの保全に向けた取組みの推進

前田川流域をはじめとした樹林地の荒廃が懸念されているため、水害や土砂災害に対する安全性を考慮した取組みを推進します。

主な施策	《1-1》樹林地の保全と機能の維持増進、《1-4》公共施設におけるグリーンインフラの導入 など
------	---

5) 本市の魅力あるみどりに親しめる取組みの推進

本市の魅力あるみどりに親しめるよう、長坂緑地などの自然豊かな環境での環境教育や啓発活動を推進します。

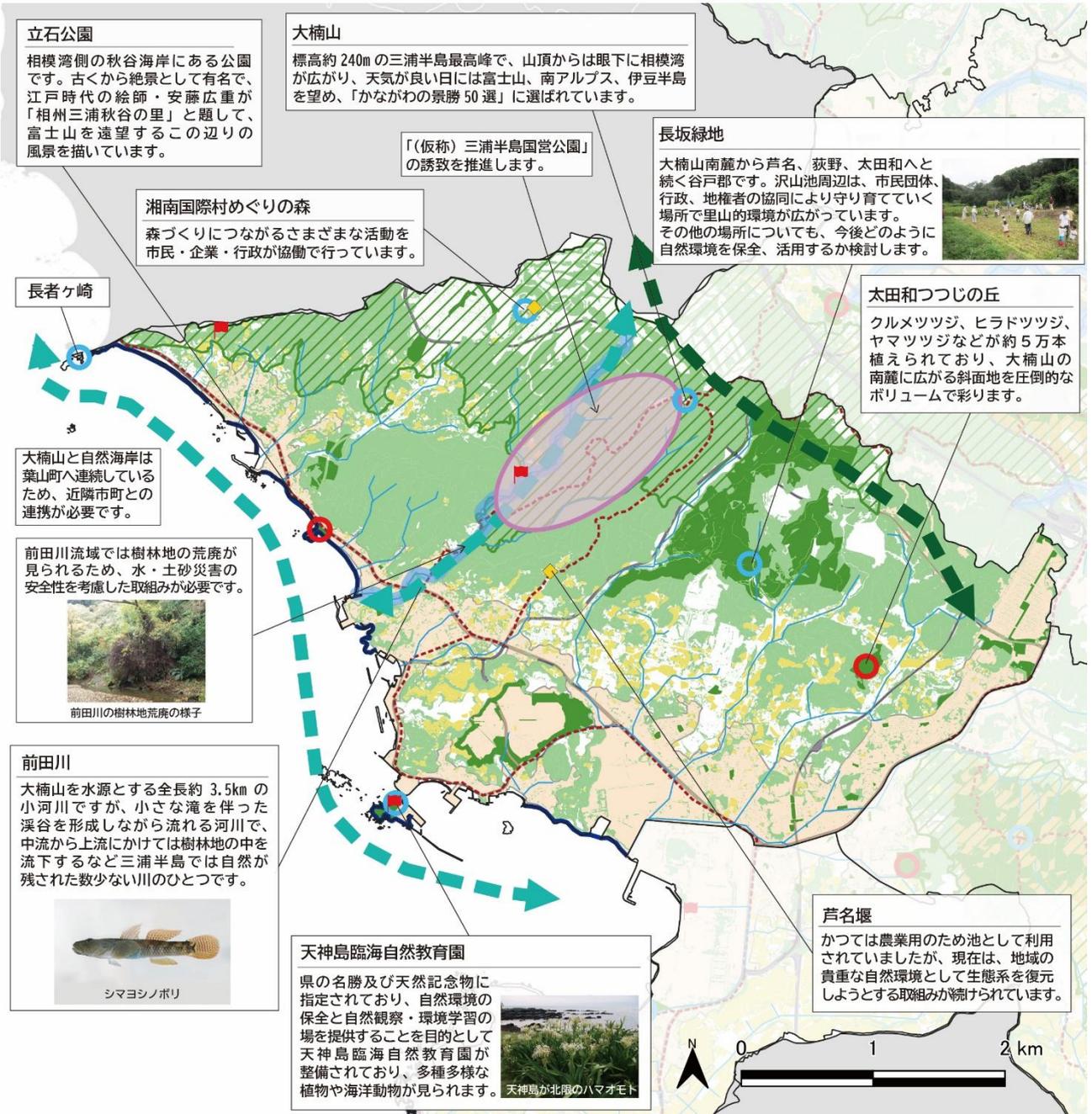
主な施策	《3-1》森林・里山環境の保全と活用、《4-1》みどりや生きものに対する意識の向上、 《4-2》自然に関する環境教育・環境学習の実施 など
------	--

6) みどりの保全に向けた県や隣接する市町との連携

隣接する葉山町へ連続する大楠山と自然海岸など、本市のみどりを保全するために県及び近隣市町との連携を図ります。

主な施策	《1-13》県及び近隣自治体との広域的な連携の推進 など
------	------------------------------

- 拠点となるみどり(自然)
- 拠点となるみどり(交流)
- 拠点となるみどり(自然・交流)
- 近郊緑地保全区域・風致地区
- (仮称)三浦半島国営公園
- 河川
- 自然海岸
- - - プロムナード・散歩道
- かながわ生物多様性ホットスポット
- ◆ 自然共生サイト
- ◄—► みどりの保全・活用のための広域的な連携
- ◄—► 水辺空間の保全・活用
- 市街化区域
- 都市公園
- 樹林地
- 農地



みどりの現況・課題・将来像（大楠山ゾーン）

